施工計画書記載要領

4. 指定機械使用計画

指定機械の使用計画

機械名・規格・使用工種・騒音('97)・排出ガス対策型・BH
クレーン仕様等。

仕様 工種	機械名	型式	規格	作業 性能	使用 台数	使用月	備考
						○月	

5. 施工方法

設計工種ごとに現場と整合した具体的な施工方法を明記する。

(1) 山留工

施工断面、種別ごとに、位置、構造、工法、使用機械等を図示説明し、応力計算書をつける。なお、別途山留の特殊工法を採用も同様とする。

(2) 路面覆工

施工場所、構造等を図示説明し、応力計算書をつける。

(3) 土工

掘削場所、工法、運搬、処分方法、埋戻材料、埋戻方法等を説明する。土留工について現場状況により 1.5m 未満でも土留めを設置することを記載する。

(4) 築造計画

施工順序と施工管理の方法を説明する。

(5) コンクリート工

型枠の構造、コンクリートの打設区分、打継目位置方法、鉄筋加工等を図示説明する。

ただし、小規模なものは省略することができる。

(6) 杭基礎工

試験杭、本杭の打込方法、順序、使用機械、落下高溶接等につき図示説明。

(7) 推進工

施工場所の図示、土質、地下水の状況等を説明。

ア) 立坑部

山留工の種類と構造、使用機械の説明、応力計算書をつける。

イ) 管渠部

使用管渠の種類、推進装置、油圧機器、支圧壁、刃口等の構造を図示説明。カラー、継手ボルト、連結鋼材の品質形状、裏込注入材の配合、注入方法、使用機器等の図示説明。

なお、長距離推進、特殊推進工法、あるいは立坑を潜函工法、深礎工法等によって築造するときは、その旨、上記に準じて説明すること。

(8) その他

ア) 舗装工

施工位置、種別、構造、面積等を図示説明。

イ) 植栽工

植樹の種類、位置、施工方法、順序等を図示説明。

ウ) 支障物件の防護方法(地上、地下)

既設の支障物件の防護方法を図示説明すること。

エ) その他

その他、特殊工法については、その内容について説明すること。

6. 施工管理計画

(1) 材料

別途、材料承認願いで数量・規格等を仕様書・カタログ・品質証明・有効期限等を確認する(使用する全ての資材)。

(2) 品質管理

県規格基準管理図書を参考に工種ごとに試験項目・回数・箇所を明記する。

(3) 出来形管理

出来形管理箇所・数量を明記する。

(4) 写真管理

写真管理箇所・数量を明記する。

(5) 段階確認

確認項目を明記する。

7. 作業現場安全管理計画

(1) 防護柵・工事看板・迂回案内図・地元へのお願い。

(2) 騒音、振動、地盤沈下、粉塵、危険物、劇物等に対する措置状況。

(3) 仮歩道、残土仮置場、捨場、機械の運用等の状況。

(4) 有資格者名簿並びに免許番号、免許写真の写しを添付すること。

8. 緊急連絡体制

関係各機関緊急連絡先を明記すること。

施工日数と順序

平面図に着色し、着工予定日、完了予定日を記入。

9. 交通管理計画

交通及び一般の保安施設は昼間と夜間に分けて明記する。

工事中における保安施設、保安要員の配置状況。休業中における対策等を図示説明。

特に夜間の第三者安全対策は必ず明記。

(資材搬入・搬出・残土・産廃処分先・迂回・交通制限等)

10. 仮設備計画

構築物、仮設物の施工、完成、維持またはこれに関連する施設装置、現場事務所、安全看板、土場、産廃仮置場等を記載する。現場事務所、材料置場倉庫等に消火設備の状況を付記する。

仮設工

- (1) 電気設備
受電容量、受電設備、配線状況、取扱責任者。
 - (2) 足場及び栈橋
作業用覆工、栈橋等、重量物を支持するものは構造図のほか、施工法、応力計算書を付ける。
 - (3) 仮締切工、仮排水路
位置、構造、緊急時の撤去方法等を説明し、水理計算書を付ける。
 - (4) 水替工
ポンプの能力、台数、排水処理状況の図示説明。
 - (5) ウェルポイント工
施工位置、土質、地下水の状況を具体的に作成するほか、工法の概要、諸設備、事故防止対策等を説明するとともに、計算書を付ける。
 - (6) 仮道路
位置、構造等を図示説明。
- 1 1 . 事前調査計画
- (1) 地域の環境、土質、地下水の状況、測定の方法
 - (2) 地下埋設物、地上構造物、家屋等の実態調査方法
地元状況・地下埋設物・架空線・道路・排水路・井戸・ゴミ収集日等。
 - (3) 試掘調査の方法
上記に基づいて報告書を作成し、影響及び支障物件の種類、規模を把握のうえ、防護方法を記載する。
- 1 2 . 交通管理計画
- 交通及び一般の保安施設は昼間と夜間に分けて明記する。
工事中における保安施設、保安要員の配置状況。休業中における対策等を図示説明。
特に夜間の第三者安全対策は必ず明記。
(資材搬入・搬出・残土・産廃処分先・迂回・交通制限等)
- 1 3 . 環境配慮
- 宮崎市環境配慮指針における現場の対応。
- 1 4 . 現場作業環境の整備
- 周辺環境対策・手洗い・トイレ・休息場所等。
- 1 5 . 再生資源の利用促進
- 再生資源の利用促進については別表再生資源利用計画書（搬入用、搬出用）を提出すること。また、廃棄物処理計画も同様とする。
資材の再資源化に関する説明書（当初・完了時）。
- 1 6 . そ の 他
- 協議等は文書で行っているか。
発注者・監督員の指示があった場合はこの限りではなく、必要に応じて修正されるものとする。